

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	2807	領域略称名	複合アニオン
研究領域名	複合アニオン化合物の創製と新機能		
領域代表者名 (所属等)	陰山 洋 京都大学・工学研究科・教授		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域では、カチオンの科学が中心であった無機材料分野において、複数のアニオンから構成される複合アニオン化合物に注目し、新たな学理構築と学術分野の確立を行い、学問の再構築をもたらした。将来の実用化につながる材料の設計概念、方法論を確立し、機能化も実現している。研究領域は計画どおりに機能し、公募研究を含め、研究者間での有機的連携と調和が保たれ、質の高い国際学術誌を含めた905編の原著論文を発表するなど、設定目的の達成度は極めて高い。革新的な新合成法の開発や多くの新物質の発見、評価手法の開発等、高い水準の研究成果を十分に得たと評価する。著名な学術誌での総説の発表、複合アニオンの基礎学理と最新研究を網羅した教科書の出版などの成果公表も十分である。若手研究者の育成にもつながっており、期待以上の成果があったと評価する。